

令和7年度 学校だより

令和7年12月19日発行

若草もゆる



第34号

【学校経営の基本方針】

生徒の『よさ』を認め、発揮し、自己肯定感を育む

南城市立佐敷中学校

～「佐敷干潟がなぜ貴重なのか」から始まる1年生の総合的な学習の時間～

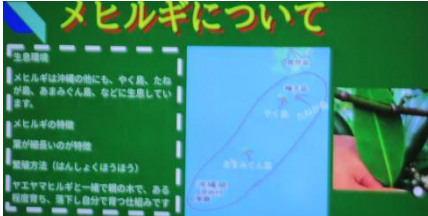
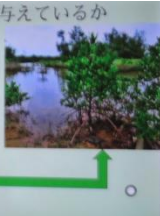
実際に見る・触れる・聞く

12月17日(水)3・4校時、1年生は「総合的な学習の時間」を学年フロアで実施しました。内容は、一学期の6月から、計画的に総合的な学習の時間に取り組んできた「佐敷干潟観察」の成果等を共有する「佐敷干潟観察報告会」を行うためです。本校の東側に広がる佐敷干潟について、そこに生息する貴重な動植物(絶滅危惧種、国外からの渡り鳥、2種類のマングローブの生息など)の発見や、自然の地形が湾状になっていること、浸食の影響による浅瀬化が進行していることなど、佐敷干潟の観察等を通して、多くの気づきと貴重な体験が出来たことを発表しました。

また、今年度の佐敷干潟の観察会を実施するにあたっては、地域ボランティアの皆様が講師役を務められ、懇切丁寧に指導ご助言をいただきました。誠にありがとうございました。

築島は人々にどのような影響を与えているか

- ・モクマオウが生息している
- ・二酸化炭素を酸素に変えている
- ・築島が侵食されたことにより、一部海岸での浅瀬化が進行している
- ・昔は子供たちの遊び場だった



街頭募金活動に取り組みました

去る11月22日(土)13時～15時30分の間、生徒会ボランティア委員11名による「赤い羽根共同募金運動街頭募金」活動を、商業施設(丸大佐敷店、ザ・ビッグエクスプレスの2カ所)で実施しました。当日来店された方々



のご賛同を得ながら活動することが出来ました。この場をお借りして、お礼申し上げます。

校内研修会の様子 教科研究授業



本校では、教員の知識・技能の資質向上等を目的とした「一人1回研究授業」を計画的に進めているところです。12月16日(火)2校時、久志教諭による数学の研究授業を3年1組で実施しました。

また、12月17日(水)1校時、山城教諭による技術の研究授業を2年3組で実施しました。

本校3年生と3年生の保護者の皆様へ

沖縄県教育庁教育DX推進課から「県立高校における一人1台端末を活用した学びの推進について(お知らせ)」(令和7年12月15日付け)の件名で、令和8年度に県立高校に進学する現中学校3年生とその保護者の皆様宛に、学習端末の活用や購入方法の詳細等のお知らせが届いていました。このお知らせの詳細に関しましては、本日19日付けで、保護者メールに送信いたしましたので、お子さんと一緒にお早めにご覧になれますようよろしくお願いいたします。

達成感とその笑顔

先日、卒業アルバムに掲載するための生徒会役員集合写真の撮影が、ドーナツ広場でおこなわれました。今年度の生徒会役員は、生徒会正副会長を含め総勢12名で構成され、372名の全校生徒と共に、活気に満ちあふれた佐敷中学校をめざして取り組んできました。撮影に臨む生徒会役員12名の皆さんの笑顔が印象的でした。

